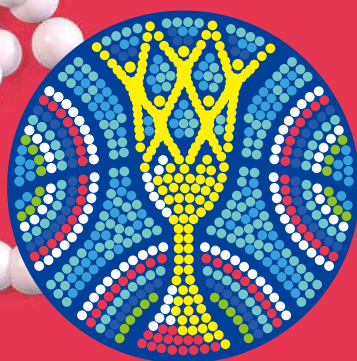




FIBA
WOMEN'S BASKETBALL
WORLD CUP

QUALIFYING TOURNAMENT
OSAKA

FIBA 女子バスケットボールワールドカップ2022 予選

グループC 日本会場(大阪)

第1戦

2022 **2.10** THU

AKATSUKI FIVE 女子日本代表チーム VS 女子カナダ代表チーム

TIPOFF 19:00

第2戦

2022 **2.12** SAT

女子カナダ代表チーム VS 女子ボスニア・ヘルツェゴビナ代表チーム

TIPOFF 15:00

第3戦

2022 **2.13** SUN

女子ボスニア・ヘルツェゴビナ代表チーム VS AKATSUKI FIVE 女子日本代表チーム

TIPOFF 18:00

CSフジ(日本戦のみ)、DAZN、バスケットLIVE(日本戦のみ)

百岁山

真正天然矿泉水

补充人体所需的 **偏硅酸** 等微量元素、矿物质



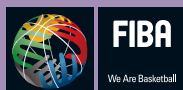
Natural Mineral Water



百岁山官方网站



百岁山官方微信



国际篮联 全球合作伙伴

FIBA GLOBAL PARTNER



molten
For the real game
GLOBAL PARTNER

BG5000

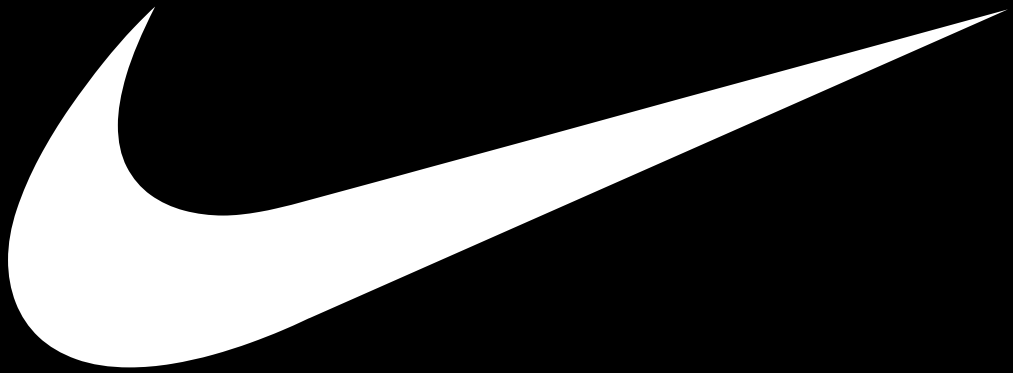
FIBA OFFICIAL GAME BALL



Feel the Grip.
Control your Game.



website





事務総長
FIBA Secretary General

アンドレアス・ザグリス
Andreas Zagklis

会長
FIBA President

ハマネ・ニアン
Hamane Niang

親愛なる友人へ

FIBAを代表し、日本・大阪で開催されるFIBA女子バスケットボールワールドカップ2022予選トーナメントに皆様を歓迎します。

4つの予選トーナメントは、チームがFIBAの大会に出場するための明確な道筋を明確にするために、2019年に導入された女子競技方式の一部となります。この変更により、これらのトーナメントは女子バスケットボールの露出を高めるのにも役立ち、年間を通じて世界中でより定期的に代表チームの試合が開催されます。

セルビア・ベオグラード、日本・大阪、アメリカ・ワシントンDCで開催されている4つの女子ワールドカップ予選トーナメントには、それぞれ4ヶ国が出場します。すべての国はシドニーで開催されるFIBA女子バスケットボールワールドカップ2022に出場することを目指し、12ヶ国がオーストラリアの象徴である都市に集い、9月22日から10月1日の期間において19回目の女子の世界タイトルに挑戦します。各トーナメントの上位3チームがオーストラリアへのチケットを獲得します。

FIBA女子バスケットボールワールドカップ2022は、FIBA女子バスケットボールの戦略的取り組みにおける重要な要素でもあります。FIBAは、女性の選手、コーチ、役員を増やすこと、競技のガバナンスに関与する女性を増やすこと、バスケットボールと女性ファンの距離を縮めることなど、スポーツのあらゆるレベルで女性の役割を向上させることに取り組んでいます。FIBA最高峰の女子ワールドカップは、世界中の最高の女性選手、コーチ、役員に世界の目が向けられるため、この取り組みにおいて最も重要です。

新型コロナウイルスのパンデミックに2年以上も挑戦し続けていますが、その間FIBAは世界中で100以上の大会を成功裏に開催し、参加者と主催者の安全を最重要視しています。今回の予選トーナメントも関係者全員の健康と安全を確保するために、FIBAの厳格なプロトコルに基づき開催します。

最後になりましたが、この場をお借りして、開催国であるセルビア、日本、米国の各国協会、そして渡航および健康上の制限によりワシントンDCから変更となった2試合を開催して下さるドミニカバスケットボール協会に心から感謝申し上げます。各国の献身とコミットメントが今年のFIBA女子バスケットボールワールドカップ2022予選トーナメントを最高のものにすることを確信しています。

試合をお楽しみください！

Dear Friends

On behalf of FIBA, we are pleased to welcome you to Osaka, Japan for the FIBA Women's Basketball World Cup 2022 Qualifying Tournament. These four Qualifying Tournaments are part of the women's competition system which was introduced in 2019 to ensure a clear pathway for teams to reach FIBA events. In doing so these tournaments also help enhance the exposure of women's basketball, with more regular national team games being played around the world throughout the year.

The four Women's World Cup qualifying tournaments, which are being played in Belgrade, Serbia, Osaka, Japan and Washington D.C., USA, will each feature four nations - all of them with their eyes set on reaching the FIBA Women's Basketball World Cup 2022 in Sydney, where 12 teams will converge on the iconic Australian city to challenge for the 19th women's world title from September 22 to October 1. The top three teams of each tournament will book their tickets to Australia.

The FIBA Women's Basketball World Cup 2022 also represents a critical component in FIBA's Women in Basketball strategic effort. FIBA is committed to improving the role of women at all levels of the sport, ranging from increasing the number of female players, coaches and officials, to getting more women involved in the governance of the game, to bringing more female fans closer to basketball. FIBA's flagship women's world cup event is of the utmost importance in those efforts when the world's eyes will be cast upon the greatest female players, coaches and officials from across the globe.

Despite COVID remaining a challenge more than two years into the pandemic, FIBA has successfully organized more than one hundred events around the world over that time - tournaments that place an absolute urgency on the safety of the participants and organizers alike. These Qualifying Tournaments will also be played under FIBA's strict protocol to ensure the health and safety of all involved.

In closing, we would also like to take this opportunity to express our sincere thanks to the hosting National Federations of Serbia, Japan and the United States and also to the Dominican Basketball Federation for hosting two games of the Washington D.C. tournament, which have been moved due to travel and health restrictions. We are sure that their dedication and commitment will make this year's FIBA Women's Basketball World Cup 2022 Qualifying Tournaments the best they can be.

Enjoy the action!

FIBA
BASKETBALL
WORLD CUP
PHILIPPINES-JAPAN-INDONESIA



GLOBAL PARTNER



The Philippines' Fastest 5G NETWORK

Based on analysis by Ookla® of Speedtest Intelligence® data 5G median download speeds for Q1 2021.

Ookla trademarks used under license and reprinted with permission.
Smart 5G network is available in select areas.



最高の瞬間を、この臨場感で。

TCL QLED TV

androidtv Mini-LED



大阪から始まるFIBA女子バスケットボールワールドカップ2022への道



前回、2018年にスペインで開催されたFIBA女子ワールドカップはアメリカが優勝を果たした

東京2020オリンピックの熱狂から次なるステップへ

2021年夏、東京2020オリンピックで銀メダルを獲得した女子日本代表が次なるステージに挑む。2月10日～13日にわたり、大阪のおおきにアリーナ舞洲にて「FIBA女子バスケットボールワールドカップ2022 予選」が開催される。今予選は今回から新設された大会で、2022年9月にオーストラリアで開催される「FIBA女子バスケットボールワールドカップ(以下女子ワールドカップ)2022」の出場権を争う大会だ。各大陸を勝ち抜いた16チームが参戦して本戦へ進む12チームを決めるもので、アジアからは2021年9月から10月にかけて開催されたアジアカップの上位4チーム(日本、中国、オーストラリア、韓国)が出場する。

女子ワールドカップはオリンピック同様、4年に一度開催されるバスケットボール世界一決定戦で、優勝国にはオリンピックの出場権が与えられる。2022年大会からは参加国が16から12へ減少することで大会そのものは狭き門となるが、予選では大陸予選と世界予選の2段階もの難関を勝ち抜いていくことになり、普及と強化という点においては広がりを見せていくことになる。

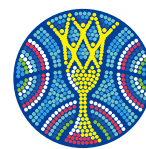
16チーム中12チームがワールドカップへ

予選システムは2020年2月に開催された女子

の東京2020オリンピック予選(FIBA Olympic Qualifying Tournaments 2020 : OQT)と同様の方式だ。東京2020オリンピック開催地の日本と女子ワールドカップ2018優勝国のアメリカが出場権を保持しながらもOQTに参加したように、今回も女子ワールドカップ2022開催地のオーストラリアと東京2020オリンピック優勝国としてチケットを獲得しているアメリカも参戦する。

16チームを4グループに分け、日本(大阪/1グループ)、セルビア(ベオグラード/2グループ)、アメリカ(ワシントンD.C./1グループ)の3会場で開催。総当たりで3試合を行い、各グループ上位3チーム(計12チーム)が女子ワールドカップの出場権を獲得する。ただし、開催国のオーストラリア、および東京2020オリンピック優勝国のアメリカはすでに出場権を持つため、当該2チームが属するグループはその両チームを除く上位2チームに出場権が付与される。

今回の女子ワールドカップ予選から新方式が採用されることにより、オリンピックと女子ワールドカップの2大会において、各大陸予選と世界予選を勝ち抜く熾烈な戦いが繰り広げられることになったのは日本代表にとっても同じこと。また、シーズン中の予選開催とあって、Wリーグと並行



FIBA
WOMEN'S BASKETBALL
WORLD CUP
QUALIFYING TOURNAMENT
OSAKA

しながらの強化となることで、成長著しい選手や旬な選手たちの抜擢もありえるため、選手層が底上げされ、新しい発見や見どころも増えるだろう。

強豪揃いのグループで戦う日本

FIBAランキング8位の日本のグループには、前回、2018年に開催された女子ワールドカップで7位入賞したカナダ(4)、初のワールドカップ出場を狙いながらもWNBA2021でMVPを受賞したジョンケル・ジョーンズを擁するボスニア・ヘルツェゴビナ(27)と強敵が揃った。

直近の試合では、カナダには2020年OQTで68-70の僅差で敗退。また、ボスニア・ヘルツェゴビナは初対戦ながらもヨーロッパで存在感を示す手強い相手だ。強敵が揃ったグループであるが、恩塚亨ヘッドコーチは「対戦することによって成長できるグループ」と捉えている。熾烈な戦いを勝ち抜いていくことで、女子日本代表はパリオリンピックに向けてステップアップしていくことだろう。

※()の数字はFIBAランキング(2021年12月6日現在)

※グループC/日本会場(大阪)における、FIBA女子ワールドカップ2022本戦の出場権の取り扱いについては、FIBAにて協議(2月10日12時現在)



2021年、FIBA女子アジアカップで5連覇を達成した日本代表はボスニア・ヘルツェゴビナ、カナダと対戦

FIBA女子バスケットボールワールドカップ2022 予選 出場チーム

セルビア会場 A	セルビア会場 B	日本(大阪)会場	アメリカ会場
オーストラリア(3位)	フランス(5位)	ボスニア・ヘルツェゴビナ(27位)	ロシア(12位)
韓国(14位)	中国(7位)	日本(8位)	アメリカ(1位)
セルビア(10位)	ナイジェリア(15位)	カナダ(4位)	プエルトリコ(18位)
ブラジル(17位)	マリ(40位)		ベルギー(6位)

※国・地域名の横のカッコ内は2021年12月6日現在(最新)のFIBAランキング ※各グループ上位3チーム(計12チーム)がワールドカップ出場権を獲得(ただし、ワールドカップ開催国のオーストラリア、および東京2020オリンピック優勝国・アメリカはすでに出場権を持つため、当該2チームが属するグループはその両チームを除く上位2チームに出場権が付与される)

T + TISSOT



FIBA

We Are Basketball

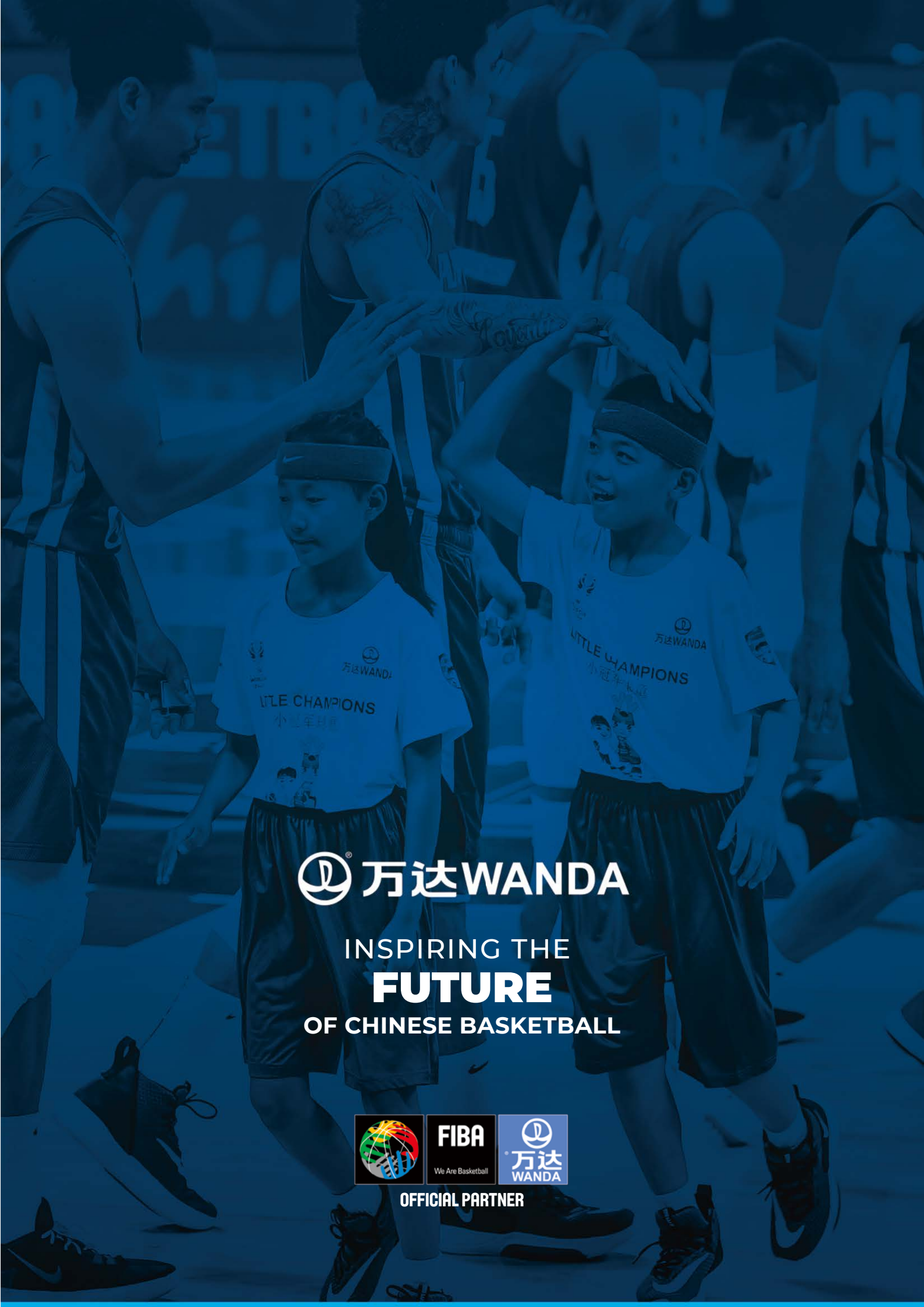
OFFICIAL TIMEKEEPER



TOUCH[™]
CONNECT SOLAR

POWERED BY NATURE
CRAFTED FOR YOU

TISSOTWATCHES.COM
TISSOT, INNOVATORS BY TRADITION

The background of the entire image is a blue-tinted photograph showing several basketball players in dark jerseys interacting with two young children. The children are wearing white t-shirts with 'LITTLE CHAMPIONS' and '万达WANDA' printed on them, along with dark basketball shorts. One child is smiling and looking up at an adult player who is placing a hand on their head. Another child is looking down. The scene appears to be on a basketball court.

 万达WANDA

INSPIRING THE
FUTURE
OF CHINESE BASKETBALL



OFFICIAL PARTNER

ワールドカップは 4年に一度の世界一決定戦

2022年大会から予選システムが変更、 出場チームは12に

4年に一度開催される『バスケットボール世界一決定戦』。それがFIBA女子バスケットボールワールドカップ（以下女子ワールドカップ）だ。2022年大会は9月22日から10月1日にわたり、オーストラリアのシドニーにて開催される。2010年までは『女子世界選手権』の名称で大会が行われ、2014年大会からは新たに『女子ワールドカップ』となった。

前回大会（2018年）までは各大陸を勝ち抜いた16チームによって世界一を争っていたが、2022年大会からは、大陸予選と今年2月に開催するワールドカップ予選の2段階からなる予選を勝ち抜いた12チームによって開催される。

ワールドカップの大会システムは参加12チームを6チームずつの2グループにわけ、グループフェーズでは総当たり5試合を行う。各グループの上位4チームが決勝トーナメントに進出。そこからは準々決勝、準決勝、決勝の一発勝負のトーナメントで争われる。優勝チームには次回オリンピックの出場権が与えられる。女子ワールドカップ2022を勝ち抜けば、2024年のパリ五輪のチケットが手に入る仕組みだ。

今回で19回目の開催、

最多優勝はアメリカの10回

初の女子世界選手は1953年にチリで開催され、今回で19回の歴史を持つ。最多優勝国は10回の優勝を誇るアメリカ。続いてソビエト連邦（現ロシア）が6回、ブラジルとオーストラリアがそれぞれ



FIBA女子バスケットボールワールドカップ2022の優勝チームに授与されるトロフィー

タイトルを1回獲得している。

日本の最高成績は1975年大会の2位。予選ラウンドではオーストラリアに僅差で敗れたが、アメリカとチェコスロバキアに勝利してグループを1位で突破。決勝ラウンドでは韓国、メキシコ、イタリア、コロンビアとの激闘を制し、決勝ではソ連に75-106で敗れたものの銀メダルを獲得した。エースの生井けい子が得点王とMVPのダブル受賞に輝いた。

歴代の女子日本代表が

存在感を示してきた大会

1975年大会以降、日本がベスト8以上に進出したことはないが、1996年のアトランタ五輪で7位入賞を果たすメンバーが揃った1994年大会からは、3ポイントとスピードある攻防で、再び世界で存在感を示す戦いを繰り広げている。

1994年大会（オーストラリア）は12位。村上睦子がフリースロー100%の確率（22/22本）でタイトルを獲得するとともにFIBAから特別表彰を受



け、大山妙子が3ポイント王（59%）を獲得。1998年大会（ドイツ）はあと一步のところまで決勝トーナメントを逃して9位となるが、女王アメリカと予選ラウンドで対決して6点差まで迫る健闘を見せている。また、当時WNBAプレーヤーだった萩原美樹子は得点3位（平均17.5得点）にランクインした。2010年大会（チェコ）も僅差で決勝トーナメントを逃す10位ながらも、大神雄子が得点王（平均19.1得点）、吉田亜沙美がアシスト王（平均4.6本）に輝き、日本のガードコンビがタイトルを獲得。

前回2018年大会は大混戦の大会となった。日本は予選ラウンドでスペインに敗れたもののベルギーとの延長を制し、プエルトリコに勝利。強豪相手に2勝をもぎ取っているものの、得失点差でグループ3位となり、グループ1位がストレートに進む準々決勝進出を逃してベスト8決定戦へ。ここで中国に敗れて9位となった。



大会の記録

開催年	開催地	優勝	準優勝	3位
2018	テネリフェ（スペイン）	アメリカ	オーストラリア	スペイン
2014	アンカラ、イスタンブール（トルコ）	アメリカ	スペイン	オーストラリア
2010	ブルノ、カルロヴィ・ヴァリ、オストラヴァ（チェコ）	アメリカ	チェコ	スペイン
2006	サンパウロ（ブラジル）	オーストラリア	ロシア	アメリカ
2002	常熟、常州、太倉、蘇州、淮安、南京、興中、張家港、鎮江（中国）	アメリカ	ロシア	オーストラリア
1998	ベルリン、ブレーメン、ヴッパータール、デッサウ、ローテンブルグ/フルダ、カールスルーエ、ミュンスター（ドイツ）	アメリカ	ロシア	オーストラリア
1994	アデレード、シドニー、ホバート、ローンセストン（オーストラリア）	ブラジル	中国	アメリカ
1990	コタキナバル、クアラルンプール、クチン（マレーシア）	アメリカ	ユーゴスラビア	キューバ
1986	モスクワ、ビリニョス、ミンスク（ソビエト連邦）	アメリカ	ソビエト連邦	カナダ
1983	リオデジャネイロ、ポルトアレグレ、サンパウロ（ブラジル）	ソビエト連邦	アメリカ	中国
1979	ソウル（韓国）	アメリカ	韓国	カナダ
1975	プケランガ、ボゴタ、カリ（コロンビア）	ソビエト連邦	日本	チェコスロバキア
1971	サンパウロ（ブラジル）	ソビエト連邦	チェコスロバキア	ブラジル
1967	プラハ（チェコスロバキア）	ソビエト連邦	韓国	チェコスロバキア
1964	リマ（ペルー）	ソビエト連邦	チェコスロバキア	ブルガリア
1959	モスクワ（ソビエト連邦）	ソビエト連邦	ブルガリア	チェコスロバキア
1957	リオデジャネイロ（ブラジル）	アメリカ	ソビエト連邦	チェコスロバキア
1953	サンティアゴ・デ・チリ（チリ）	アメリカ	チリ	フランス

※国名は開催年当時の表記

大会競技方式

GROUP PHASE

GROUP A

1
2
3
4
5
6

GROUP B

1
2
3
4
5
6

FINAL PHASE

QUARTER-FINAL

QUARTER-FINAL

QUARTER-FINAL

QUARTER-FINAL

SEMI-FINAL

SEMI-FINAL

3RD PLACE GAME

FINAL



あなたの未来に、ずっと寄りそう。

みらいのカタチ



AKATSUKI FIVE
EVELYN MAWULI



AKATSUKI FIVE
LEO VENDRAME



3x3
YOSUKE SAITO



3x3
AIKA HIRASHITA

JAPAN

日本代表 (AKATSUKI FIVE)

(2021年12月6日現在)

FIBAランキング

8位

SF
3



馬瓜 ステファニー (Stephanie MAWULI)
生年月日: 1998年11月25日
身長: 182cm
所属: トヨタ自動車 アンテロープス

PF
8



高田 真希 (Maki TAKADA)
生年月日: 1989年8月23日
身長: 185cm
所属: デンソー アイリス

C
10



渡嘉敷 来夢 (Ramu TOKASHIKI)
生年月日: 1991年6月11日
身長: 193cm
所属: ENEOSサンフラワーズ

PF
11



谷村 里佳 (Rika TANIMURA)
生年月日: 1993年7月31日
身長: 185cm
所属: 日立ハイテク クーガーズ

SG
12



三好 南穂 (Naho MIYOSHI)
生年月日: 1993年12月21日
身長: 167cm
所属: トヨタ自動車 アンテロープス

PG
15



本橋 菜子 (Nako MOTOHASHI)
生年月日: 1993年10月10日
身長: 164cm
所属: 東京羽田ヴィッキーズ

SG
16



近藤 楓 (Kaede KONDO)
生年月日: 1991年10月6日
身長: 173cm
所属: デンソー アイリス

PG
23



山本 麻衣 (Mai YAMAMOTO)
生年月日: 1999年10月23日
身長: 163cm
所属: トヨタ自動車 アンテロープス

SG
27



林 咲希 (Saki HAYASHI)
生年月日: 1995年3月16日
身長: 173cm
所属: ENEOSサンフラワーズ

PG
32



宮崎 早織 (Saori MIYAZAKI)
生年月日: 1995年8月27日
身長: 167cm
所属: ENEOSサンフラワーズ

SG
88



赤穂 ひまわり (Himawari AKAHO)
生年月日: 1998年8月28日
身長: 184cm
所属: デンソー アイリス

PF
99



オコエ 桃の花 (Monica OKOYE)
生年月日: 1999年2月7日
身長: 182cm
所属: 富士通 レッドウェーブ

STAFF



HEAD COACH

恩塚 亨 (Toru ONZUKA)
公益財団法人日本バスケットボール協会

チームリーダー
小栗 弘 (Hiroshi OGURI)
三菱電機 コアラーズ

アシスタントコーチ
上野 経雄 (Tsuneo UENO)
公益財団法人日本バスケットボール協会

アシスタントコーチ
鈴木 良和 (Yoshikazu SUZUKI)
株式会社ERUTLUC

スポーツパフォーマンスコーチ
松野 慶之 (MATSUNO Yoshiyuki)
公益財団法人日本バスケットボール協会

アスレティックトレーナー
岩松 真理恵 (Marie IWAMATSU)
公益財団法人日本バスケットボール協会

アスレティックトレーナー
吉田 まどか (Madoka YOSHIDA)
おれんじ鍼灸院

マネージャー
小松 佳緒里 (Kaori KOMATSU)
ENEOSサンフラワーズ

テクニカルスタッフ
梅津 ひなの (Hinano UMETSU)
公益財団法人日本バスケットボール協会

ドクター
小松 孝行 (Takayuki KOMATSU)
順天堂大学医学 スポーツ医学研究室



molten
For the right game
GLOBAL PARTNER

BG5000

FIBA OFFICIAL GAME BALL



刻まれた焼印。
その手に感じる、
確かなコントロール。



website

BOSNIA AND HERZEGOVINA

ボスニア・ヘルツェゴビナ代表

(2021年12月6日現在)

FIBAランキング

27位

PG
4



Milica DEURA

生年月日: 1990年7月22日
身長: 178cm
所属: Rutronik Stars Keltern

PG
5



Miljana DZOMBETA

生年月日: 1994年7月5日
身長: 175cm
所属: Satu Mare

G
7



Nikolina BABIC

生年月日: 1995年2月16日
身長: 177cm
所属: BC Prometey

G
9



Dragana DOMUZIN

生年月日: 2000年11月3日
身長: 174cm
所属: BG 74 Göttingen

PF
10



Marica GAJIC

生年月日: 1995年4月27日
身長: 185cm
所属: Flammes

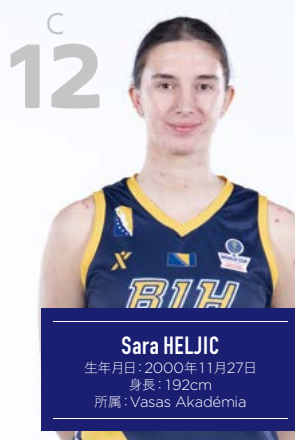
SG
11



Nikolina DELIC

生年月日: 1996年11月1日
身長: 184cm
所属: Derby Jezica

C
12



Sara HELJIC

生年月日: 2000年11月27日
身長: 192cm
所属: Vasas Akadémia

PF
15



Nikolina DZEBO

生年月日: 1995年8月11日
身長: 186cm
所属: Play Off

SF
17



Hanna HALILOVIĆ

生年月日: 1999年7月17日
身長: 187cm
所属: Högsbo Basket

SG
24



Matea TAVIC

生年月日: 1992年5月29日
身長: 178cm
所属: Rutronik Stars Keltern

SG
25



Andjela DELIC

生年月日: 1996年11月1日
身長: 181cm
所属: Chanion OA

C
35



Jonquel JONES

生年月日: 1994年1月5日
身長: 198cm
所属: UMMC Ekaterinburg

STAFF



HEAD COACH

Goran LOJO

Assistant Coach
Armin SECEROVIC

みえるを 広げる。 みらいを 照らす。

まったく同じ一日はない。だから、今日も新しいニュースを届ける。

まったく同じ人はいない。だから、さまざまな声を発信する。

朝日新聞デジタルは、世の中の出来事を伝えるだけではない。

「多様性」、その生き方や考え方の“違い”を大切にして、多くの人へ伝える。

知ることが認め合うきっかけになる、と信じているから。

知ることにより良い未来を描いてほしい、と願うから。

世の中に溢れる誰かの言葉も、情報の真偽も、

さまざまな視点で見て、聴いて、考えて、もがいて、確かなカタチで届けたい。

きょうも、あしたも、伝えたいニュースがある。

今を生きるあなたに役立つ情報を、あなたらしく暮らすために。

朝日新聞デジタル10周年

朝日新聞
DIGITAL

by The Asahi Shimbun

Q みえるを広げる



CANADA

カナダ代表

(2021年12月6日現在)

FIBAランキング

4位

G
2



Aislinn KONIG

生年月日: 1998年5月20日
身長: 175cm
所属: Castors Braine

SF
3



Merissah RUSSELL

生年月日: 2002年3月3日
身長: 180cm
所属: University of Louisville

SF
6



Bridget CARLETON

生年月日: 1997年5月22日
身長: 185cm
所属: AS Ramat Hasharon

C
11



Natalie ACHONWA

生年月日: 1992年11月22日
身長: 191cm
所属: MINNESOTA LYNX

G
12



Jamie SCOTT

生年月日: 1994年8月9日
身長: 178cm
所属: ——

G
13



Shay COLLEY

生年月日: 1996年1月6日
身長: 176cm
所属: Rutronik Stars Keltern

C
14



Kayla ALEXANDER

生年月日: 1991年1月5日
身長: 193cm
所属: WBC Dynamo Novosibirsk

F
15



Laeticia AMIHERE

生年月日: 2001年7月10日
身長: 186cm
所属: University of South Carolina

F
20



Quinn DORNSTAUER

生年月日: 1995年8月16日
身長: 193cm
所属: Castors Braine

G
21



Nirra FIELDS

生年月日: 1993年12月3日
身長: 176cm
所属: Izmit Belediyespor

SF
23



Cassandra BROWN

生年月日: 1992年6月16日
身長: 188cm
所属: Grengewald

F
25



Michelle PLOUFFE

生年月日: 1992年9月15日
身長: 191cm
所属: O.S.F.P.

STAFF



HEAD COACH

Víctor LAPEÑA

Assistant Coach
Noelle Monique QUINN

ASSISTANT COACH
Steve BAUR



Official Goods

◀◀◀ オフィシャルグッズ販売中 ▶▶▶

★New Design!



Tシャツ(黒) ¥3,500税込
サイズ:M・L・LL

★New Design!



Tシャツ(赤) ¥3,500税込
サイズ:M・L・LL

★残りわずか!



Tシャツ(黒) ¥3,500税込
サイズ:M・L

★残りわずか!



Tシャツ(赤) ¥3,500税込
サイズ:Mのみ



マスクカバー 各¥1,300税込



フェイスタオル ¥1,500税込 サイズ: 85 cm × 34 cm



マフラータオル ¥1,800税込 サイズ: 21 cm × 110 cm



男子10選手
岸本・比江島・藤井・富樫
ペンドラメ・斉藤・寺嶋
シェーファー・岡田・西田
女子10選手
高田・渡嘉敷・町田
本橋・林・エブリン
宮崎・赤穂・オコエ・山本



トートバッグ ¥1,500税込
サイズ: 34 cm × 35 cm (マチ 11 cm)



シュシュ ¥1,000税込



巾着 ¥800税込



うさ耳リボン ¥1,200税込



ブザービーターキャンディー
¥600税込



ピックアンドロールクッキー
¥1,000税込

ユニフォームクマさん
サイズ: 約 10 cm ¥2,500税込



ボールペン シャープペン
1本¥800税込 2本セット¥1,500税込



クリアファイル 各¥400税込



回転スタンド ¥2,500税込

男子7選手
岸本
比江島
藤井
富樫
斉藤
寺嶋
西田



缶バッジ サイズ: 5.7 cm ¥400税込



定規 各¥500税込



キーホルダーセット
男子Aセット 斎藤・比江島・竹内
女子Aセット 高田・宮澤・林
1セット3選手入り ¥1,500税込



男子Bセット
富樫・西田・藤井



女子Bセット
高田・宮澤・林



男子Cセット
エヴァンス・岸本・寺嶋



女子Cセット
町田・赤穂・宮崎



男子Dセット
チェンバース・エヴァンス・シェーファー



女子Dセット
町田・高田・エブリン

Online Shop



会場オフィシャルストア又は
AKATSUKIオンラインショップ
にて販売中

バスケットボール日本代表 公式 **FUN** サイト



AKATSUKI FIVE
plus+

入会はこちら



新規入会受付中!!



※画像はイメージです。

AKATSUKI FIVE plus+ オリジナル
HERO's CARD

**会場限定で
抽選配布中!**

**AKATSUKI FIVE plus+
「HERO's CARD」が新登場!**

本大会期間中、会場でしか手に入らない
代表選手のナンバリング入りカードを100枚限定で
会場ブースにて配布中!

ナンバー1~10までは**ゴールド仕様**です。是非ゲットしてください!

※配布対象はおおきにアリーナ舞洲にご来場の有料会員さまのみとなります

※抽選制の配布となります



AKATSUKI FIVE plus+ は代表とあなたを「繋ぐ」ファンクラブ
AKATSUKI FIVE plus+ に入会すると!



チケット

AKATSUKI FIVE®の国内全試合や
JBA主催試合®のチケットをどこよりも
早く購入できる!

※一部対象外の試合がございます。



イベント

日本代表候補選手も参加するオンライ
ンライブ配信イベント、選手のサイン入
りアイテムが当たる抽選応募キャンペー
ンなどファンクラブだからこそ実施でき
る超貴重な企画も実施!



会員限定コンテンツ

毎月更新のAKATSUKI FIVE® 男女のカレンダー、不定期で更新される、豪華
ゲストを迎えたオリジナルポッドキャスト番組「Wジュンのシックスマンズハーフ
タイム」や限定コラム、また AKATSUKI FIVE® になりきり、ブロックショット
を次々と決めゴールを守るオリジナルゲーム「Block it Out!!」などここでしか
得られない会員限定コンテンツを配信!



メルマガ登録受付中

AKATSUKI FIVE plus+にてメールマガジンの登録をすると、バスケットボール日本代表に関する
「AKATSUKI FIVE plus+メールマガジン」を受信できます! 是非登録してみてください。



AKATSUKI FIVE plus+ ご入会方法

月額440円(税込)でご利用いただける公式FUNサイトです。

URLもしくはQRコードにアクセスしてください。

※3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月払いもご利用いただけます。※携帯電話など一部端末には対応しておりません。

<http://akatsukifive.jp>

アカツキファイブプラス 🔍



AKATSUKI FIVE

公式オンラインショップ

バスケットボール日本代表の公式グッズを
通販でご購入いただけます!

https://akatsukifive.jp/online_shop/



©JBA

いつも応援ありがとうございます。

感染予防に ご協力ください。



手指の消毒をしよう



ソーシャルディスタンスを保とう



マスクを着用しよう

新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、
安心してご観戦いただくために、ご協力をお願いします。

FIBA
BASKETBALL
WORLD CUP
PHILIPPINES·JAPAN·INDONESIA



WIN
FOR
ALL

PLAY FOR YOUR FANS
AND FOR YOUR COUNTRY.
WIN FOR THEM.



FIBA BASKETBALL WORLD CUP 2023 PHILIPPINES·JAPAN·INDONESIA

2023.8.25-9.10

※出場予定選手



Sports Islands
OKINAWA



OKINAWA
ARENA

TICKET INFORMATION

沖縄で開催される日本代表戦 グループフェーズ全 5 試合がセットになった【FOLLOW MY TEAM PASS (GROUP PHASE) - JAPAN チケット】が 2022 年 3 月 1 日より限定販売開始！公式ファンクラブ「WIN FOR ALL TEAM」（登録無料）に登録すると会員特典として、先行販売にも参加できます。WIN FOR ALL TEAM 登録して誰よりも早く 2023 年の観戦チケットをゲットしよう！

SALES SCHEDULE

- 「WIN FOR ALL TEAM」登録会員先行販売：2022 年 2 月 27 日 (日) 11:00 ~
- 一般販売：2022 年 3 月 1 日 (火) 20:00 ~

チケット及び
WIN FOR ALL TEAM
の詳細はこちら





世界の名だたる選手たちが

沖縄に集結！



2023年、史上初の3カ国で開催となるFIBAバスケットボールワールドカップが沖縄アリーナにやってくる！

スロベニア代表のルカ・ドンチッチ（出場予定選手）やギリシャ代表のヤニス・アデトクンボ（出場予定選手）などに代表されるように、米国に限らず、いまや世界からバスケットボール界のトップスター選手が輩出される時代。

その世界のトップスターたちがFIBAバスケットボールワールドカップ王者の栄冠を手にするため、

2023年にフィリピン、インドネシアそして、ここ日本の3カ国に集結する！

FIBAバスケットボールワールドカップ本戦への熾烈な出場権をかけ、FIBAバスケットボールワールドカップ「予選」が

2021年11月から2023年2月までの期間に世界各国で開催され、「本戦」に出場する32チームが決定する。

国のプライドをかけた世界トップレベルの戦い、そして世界中のバスケファンも沖縄に集結し、

バスケットが日本、沖縄の暑い夏を更に熱くする！世界最高峰のバスケットボールを見逃すな！



大会概要

開催地：マニラ (PHI)・ジャカルタ (INA)・**沖縄 (JPN)**

大会期間：2023年8月25日(金)～9月10日(日)

出場国数：32カ国（沖縄は8カ国）

日本会場：沖縄アリーナ

日本代表：開催国枠にて出場予定・沖縄ラウンド

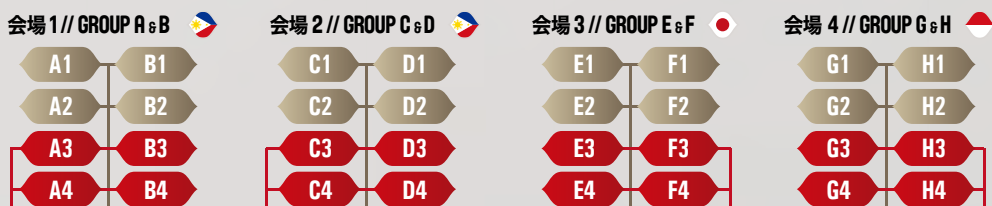
大会情報：<https://www.fiba.basketball/basketballworldcup/2023>



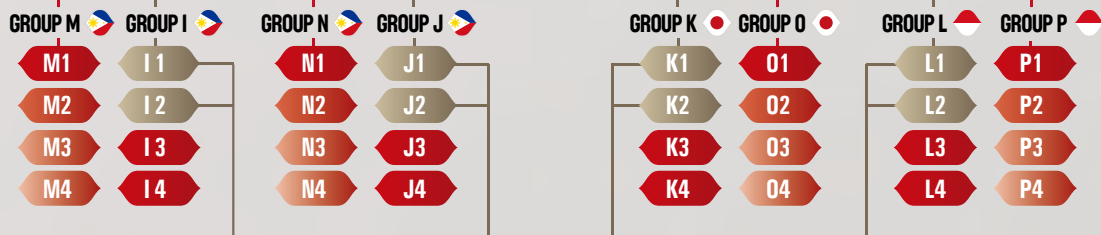
大会フォーマット

グループフェーズ

1次ラウンド



2次ラウンド & 17-32 位決定戦



決勝ラウンド



1次ラウンド
会場 1// GROUP A & B 会場 2// GROUP C & D
2次ラウンド & 17-32 位決定戦
GROUP M GROUP I GROUP N GROUP J
決勝ラウンド



1次ラウンド
会場 3// GROUP E & F
2次ラウンド & 17-32 位決定戦
GROUP K GROUP O



1次ラウンド
会場 4// GROUP G & H
2次ラウンド & 17-32 位決定戦
GROUP L GROUP P